



蔵のしらかし

《白檀中学校だより 第7号》
令和8年9月30日発行
文責：校長 西村 拓司



学校ホームページ

文化祭を終えて

9月18日（金）の文化祭では、保護者のみなさまにおかれましては、ご多用の中、ご鑑賞していただきありがとうございました。生徒たちは、日頃の学習の成果、練習の成果を十分に発揮してくれたと思っています。おかげさまで盛況のうちに終わることができました。

ステージや展示に込められた一人ひとりの思いと努力、仲間と協力することによって得られた達成感や喜びは、生徒たちの心の糧として残ることと思います。

舞台発表

♪ オープニング・ステージ【吹奏楽部】

開会を飾ったのは吹奏楽部の演奏でした。県コンクールで演奏した『カインとアベル』は、ソロのパートも随所に見られる変化の多い難しい曲とは思いますが、美しい音色と調和のとれた見事な演奏でした。今年は1年生が10名以上も入部してのぞんだ演奏でしたが、見事に演奏が仕上がっており感心しました。これまでの練習で、たくさんの努力と積み重ねがあったのだと思います。引退となる3年生にとって素晴らしいチームワークを築きあげた3年間だと思います。よく頑張りました。



👥 自分たちに持続できることSDGs【1年生】

これまで取り組んできたSDGsの学習内容を、みんなでしっかりと協力しながら役割を決めて、とても内容のあるいい発表になったと思います。白檀マップを作って自分の住んでいる町や日々の生活をSDGsの視点から考察しているところが良かったです。

来る10月18日のかしはら未来会議には、1年生から6名が白檀中学校の代表として出場してくれます。



🎭 『先生あるある』【2年生】

「コント・クイズ・モノマネ・インタビュー」を他学年の生徒や先生方も巻き込みながら、学校の楽しさを全員で分かち合える発表になったと思います。「ものまね」は少し誇張されている（笑）と感じましたが、生徒と職員との親近感が湧く楽しい発表でした。「私たちはこの中学校が大好きです」「毎日通うこの学校が、仲間や先生方のおかげでこんなにも居心地がよく、楽しい場所であることに感謝の気持ちでいっぱいです。」とても嬉しいコメントに感動しました。



🎭 笑いと感動に包まれた3年生の劇

文化祭のクライマックスを飾ったのは3年生による劇です。それぞれのキャラクターの個性が生き生きと輝き、笑いの中にも、確かな団結力と個々の豊かな表現力が感じられました。

3年2組『千と千尋の神隠し 神楽祭の日』

よく練られたユーモアあふれるシナリオと高い演技力で会場を笑いで湧かせてくれました。個々の役者がなりきっており、たくさん登場する神々の技も楽しかったです。「本当のおもてなしとは、相手を思いやりみんなで一緒に楽しめること」この物語のテーマ通りのチームワークで、卒業まで仲良く過ごしてください。



3年1組『トイ・ストーリー3.1』

ポテトヘッド探しの中で、トトロやピカチュウといったユニークなキャラクターが登場し、展開が読めないシナリオと、個性的な演技力で観客を笑いの渦に巻き込み魅了していました。この劇のように「一人一人の大切さ・仲間と協力しあうことの大切さ」を学級の持ち味として、卒業まで仲良く過ごしてください。



展示発表

- 人権ポスター
- 理科自由研究
- 音楽科作品
- 美術科作品
- 1年生校外学習新聞・スケッチ
- 2年生校外学習新聞
- 3年生校外学習新聞



展示部門も力作揃いで、とても見応えがあり良かったです。どの作品からも日々の学びが確かに形となって表れていたと思います。また、デジタル社会が進む中ですが手書きの作品がほとんどで、製作に時間がかかった分、作品も味わい深かったです。個人的な話ですが、最近はYoutubeの「厳選クラシックちゃんねる(Naco)」にハマっていて、1年生の『作曲家新聞』をととても興味深く鑑賞させていただきました。リストの「ラ・カンパネラ」の5人のピアニストによる聴き比べ動画を視聴したのをきっかけに、10月に大阪シンフォニーホールにピアノ・リサイタルを聴きに行くことになりました。みなさんがアウトプットしてくれるおかげです。これからも、たくさんの力作、そしてみなさんの活躍を期待しています。

今回の文化祭を通してみなさんが見せてくれた「自信・笑顔・仲間との心のつながり」を、これからの学校生活にいかしてってください。